

江波（えば）の曳き船

広島県・広島市



毎年旧暦6月17日に催される宮島の管弦祭において、ご神体を運ぶ御座船を曳くのは広島市の江波地区と呉市の阿賀地区に決められている。

その理由は次の故事に基づいている。

1701年、管弦船が対岸（本土側）の地御前神社から宮島へ帰る途中、急に風雨が激しくなり、転覆寸前となった。その時、九州からの帰路、厳島神社に参拝する江波村の伝馬船と、嵐を避けて錨をおろしていた阿賀村の鯛網船とが、勇気ある行動で管弦船を救援し、本殿まで曳航した。この遭難事故以来、江波と阿賀の両村が漕船を奉仕することになった。

※広島市指定重要無形文化財（平成8年5月27日 指定）

TOPICS

- ・厳島神社 管弦祭 毎年旧暦の6月17日 開催
- ・衣羽神社 夏祭り 毎年旧暦の6月29日 開催
- ・特産品：あさり、牡蠣(かき)、黒鯛

お問い合わせ先

広島市漁業協同組合江波支所

●TEL／082-231-1557

【交通】

●徒歩／広島電鉄 江波停留所から10分

